

36年継続食育事業に成果 ● JA女性部東和支部サツマイモの苗配布



東和小学校菊地孝校長が見守る中、同支部の小田島邦子支部長は、同小学校環境美化委員長の鎌田優くんへサツマイモの苗を手渡しました

JA女性部花巻地域支部東和支部は、花巻市東和町内の幼稚園や小・中学校などへサツマイモの苗の配布を36年間続けています。

児童の家族の中には、幼い頃に同取組を経験した親もおり、親子2代で育てる喜びを感じ楽しみにしている家庭もあります。長年続けている事が成果として見え、継続していく事の大切さがあらためて感じられます。

今季は、同町内各教育機関などへ1700本のベニアズマの苗を配布。小田島支部長は「親子で土に触れ、育てる大変さや喜びを家族みんなで知ってほしい。農業に興味を持ち、食の大切さを感じてくれたら」と話しました。

今年度活動開始「おいしくなあれ」が合言葉 ● 花巻まんまーず



まんまーずの指導のもと、「おいしくなあれ」と声をそろえながらおにぎりを握る園児

JAの食育リーダー「花巻まんまーず」の今年度初となる食育体験指導が5月28日、花巻市のたかき幼稚園で行われました。

藤原年子さん(47)を中心にリーダー3名が指導にあたり、5歳児の園児27名が「白玉団子」「鮭のチャンチャン焼き」「おにぎり2種」「わかめ味噌汁」に挑戦しました。

笹川航平くんは「自分で握った雑穀おにぎりがおいしい」とモグモグ。藤原さんは「作る楽しさを感じ、そのおいしさを実感してほしい。まずは食に興味をもってもらおう事から」と話しました。今後も、花巻まんまーずは食育指導で食の大切さを伝えます。

生産の現場を実感 ● 生活協同組合ユーコープ田植え体験



JAでは湯口地区内の35haの圃場で同飼料用米を作付けし、約210tを生産しています

生活協同組合ユーコープの産地指定豚肉「茶美豚(チャーミーポーク)」の飼料用米の田植えが5月22日、JA湯口支店そばの圃場で行われました。

茶美豚飼料用米の取り組みは今年で5年目。茶美豚を取り扱う神奈川県と静岡県のユーコープ店舗に勤務する精肉担当や商品部の社員、生産者、JA職員ら約30人が一緒に手植え作業を楽しみました。

この日参加したユーコープの関係者らはほとんどが田植え未経験者。慣れない田植え用長靴と泥に足を取られる場面があったものの次第にコツをつかみ、丁寧に苗を植え、約1時間で作業を完了しました。

プロ農夢花巻の出張即売会が好評 ● 野菜苗出張展示即売会



苗の育成方法の相談や家庭用のシンビジウム無料診断も行い「買った後のケアが充実している」と、毎年楽しみにしている再来者が多くみられます

JAの子会社(株)JAグリーンサービスタ花巻プロ農夢花巻事業本部は「野菜苗出張展示即売会」を5月9日から18日までの延べ6日間、太田と湯口の2会場で開催しました。

会場は特産物直売所「すぎの樹」とAコープ湯口店。家庭菜園用のナスやきゅうり、スイカなどの苗を販売し、都市部まで足を運べないお年寄りや地域住民から好評を得ました。

担当者の説明を聞きながら野菜苗を選んでいた高橋芳子さん(78)は「出張してくれると助かる。苗は良いものが多く種類も沢山あって見ているのが楽しい。栽培の相談にも乗ってくれるので安心して買える」と笑顔で語りました。

良質な出荷を目指す ● カンパニユラ出荷規格指導会



JAの昨年度カンパニユラ販売数量は6万5000束、販売金額約3100万円と生産量は日本有数の実績を誇っています

JAはカンパニユラ出荷規格指導会を5月17日、花巻市鍋倉の圃場(ほじょう)で開催しました。

指導会にはJA管内、花巻、北上、西和賀、遠野の全地域から生産者やJA職員ら約60人が参加。JA職員や市場関係者、農業改良普及センターの職員らが生育状況や出荷要領・規格などを説明しました。

花き生産部会の高橋誠部会長は「出荷量はもちろんそれに伴った品質向上を目指して皆で情報交換をしていこう」と呼びかけました。

今年度は出荷量7万5000束、販売金額3600万円と12%増の実績を目指しています。

農家の作業負担を軽減 ● 西南アスパラ選果場受け入れ



遠野地域生産者の代表4人が訪れ、出荷が始まり盛んに稼働している自動受入画像処理選別機や自動計量結束機械などの説明を受けました

JAは5月14日、遠野地域のグリーンアスパラガス生産者を対象とした北西南アスパラ選果場の視察を行いました。

視察はアスパラガスを広域重点推進項目とした3か年計画によるもの。遠野地域でこれまで農家がそれぞれ個選して出荷しているものを、同施設に受け入れて共選することにより、生産農家の作業軽減を図り、栽培面積増加と出荷増量を目指す取り組みです。

受け入れは、農家が朝取りを未選果のまま専用コンテナに縦詰めし集出荷場へ出荷、その後、予冷庫に一時保管したものをJA職員が同選果場へと搬入します。